

東紀州区域内の公立・公的等医療機関の役割

区域の概要

- 2025年の病床数の必要量と2016年度の病床機能報告を比較すると、病床総数は305床過剰となっている。
- 病床機能別に比較すると、高度急性期機能及び急性期機能で230床過剰である一方、回復期機能については、74床が不足する。
- 2025年に向け、急性期から回復期への病床機能の転換を進めるとともに、全体的なスケールダウンが必要。

2016年度病床機能報告（床）

高度急性期	5
急性期	376
回復期	100
慢性期	361
休棟・無回答等	24
計	866

必要病床数と病床機能報告との差

高度：▲24
急性：254
回復：▲74
慢性：125
計：305

2025年必要病床数（床）

高度急性期	29
急性期	122
回復期	174
慢性期	236
	-
計	561

2025年に向けた公立・公的等医療機関の役割の方向性

地域医療構想の実現に向けては、医療機関の自主的な取組及び医療機関相互の協議によって、医療機能の分化・連携を進めていくこととなりますが、2025年に向けた公立・公的等医療機関の役割の基本的方向性は以下のとおり。

- 尾鷲総合病院は、東紀州区域の基幹病院として、急性期医療や救急医療の中心的な役割を担うとともに、回復期機能についても一定の役割を担う。また、地域包括ケアシステムの構築に関しても、地域の関係機関と連携し、基幹病院としての役割をはたすとともに、へき地医療拠点病院や災害拠点病院としての役割も担う。
- 紀南病院は、東紀州区域の基幹病院として、急性期医療・救急医療から回復期機能までの中心的な役割を担うとともに、地域包括ケアシステムの構築に関しても、地域の関係機関と連携し、基幹病院としての役割をはたす。また、へき地医療拠点病院や災害拠点病院としての役割をはたす。
- 将来的には、東紀州区域の慢性期を担う病床も不足が見込まれることから、民間病院が担えない役割を公立病院が担うことも検討が必要である。

※なお、役割の方向性に見直す必要が生じた場合には、改めて地域医療構想調整会議で協議することとします。